

「G空間EXPO」の開催概要（案）

1. 趣旨・目的について

地理空間情報高度活用社会の実現を図るためには、社会のニーズをとらえた施策を実施し、技術開発や多様なサービスの展開を実現すること等が重要であり、産学官の連携が必要である。

衛星測位の利用推進や地理空間情報を活用した産業創出を目指して、国は、新産業の創造に寄与する講演会やシンポジウム、新商品・新サービスの展示会、産学官の関係者の情報交換会等を同時に開催する「G空間EXPO」を民間と連携して開催し、新たな産業・サービスの創出や既存のサービスの高度化・発展に関する、民間の提案や創意工夫を掘り起こす。

2. 開催期間・規模について

- 開催時期・期間は、平成 22 年 9 月 19 日（日）、20 日（月・祝）、21 日（火）の 3 日間とする。（※なお、9 月 18 日（土）を展示会会場の設営準備日に当てる。）
- 開催場所は、パシフィコ横浜とする。
- 目標来場者数は 3～5 万人程度を想定する。

3. 開催形態について

- 産学官共同開催とする。
- 開催名称は「G空間EXPO」とする。ただし、サブタイトルを別途募集する。
- 入場は無料とする。

4. 主催者について

- 主催者は「G空間EXPO実行委員会」とする。
- 実行委員会の構成は、会場借り上げ費用、各イベントの運営費用等何らかの費用分担ができる、若しくは人的支援、ノウハウ支援等、何らかの支援を提供することができる関係府省、学術団体や民間団体等からなるものとする。
- 主催以外の協賛、後援などの協力形態の整理も必要。会場所在地の地方公共団体等へも働きかけ。

5. 実行委員会について

- 出席者は、官側は関係府省各部局等の課長クラスとする。産学側については学術団体や民間団体等の会長、専務理事等とする。
- 実行委員会は、EXPOの開催内容等の企画の検討及び運営を担当する。
- EXPOの実行委員会のメンバーが、地理空間情報産学官連携協議会の「G空間E

XPO WG」のメンバーを兼ねるものとする。

6. 開催内容について

- 訴求対象について広く国民一般（小学生～大人）を対象とし、シンポジウムや展示毎に、小学生向け、大人向け等、対象を明確にする。
- 開催するイベントとしては、基調講演、シンポジウム、展示会・体験型催しなどを想定する。ただし、官が国民一般を対象としているのに対し、産学は専門家向けのものが多い可能性があるという違いはある。

シンポジウム等のテーマ例

- 地方公共団体におけるGIS
- G空間サービス
- 準天頂衛星
- 地図・測量
- 登記測量
- GPSを活用した農業技術
- 地理空間情報の利活用 等

7. 産学官の役割分担について

<講演会、シンポジウム>

- 官が主務構成員（担当構成員）のものについては官が、産学が主務構成員（担当構成員）のものには産学が、会場借料、運営費用（講師謝金、旅費等）等を負担する。

<展示会・体験型催し>

- 産が会場借料、会場設営・デザイン料等を負担し、官も含め展示ブース利用者は、産に対し、出展料を支払うこととする。各ブースの作り込みは、各利用者が負担する。

<その他>

- 募集パンフ、講演資料集印刷経費、広報経費の負担については、原則として産側で負担する。
- 費用負担以外の諸負担（例えば、会場側との打合せ、警察等の当局との協議、マスコミ対応、ゲストの接遇等）は、可能な限り事務局メンバーを中心とした構成員全体でシェアする。
- 官側が業務を外部に委託する場合は、企画競争以上の競争的手続によることとする。